

事務局

第113号

令和3年10月1日

8月13日 高浜市でも「東京2020パラリンピック」の聖火が鬼瓦製造会社の窯から採火され、聖火ランナーとしてシクラメンの会の藤浦さんがいきいき広場を巡りました。藤浦さんの日頃の活動について、今号の裏表紙にインタビュー記事を掲載しております。

高浜市社会福祉協議会だより

ふくし

題字 / 日原会友 井野鈴紅氏



じぶんの町を良くするしくみ。 赤い羽根共同募金

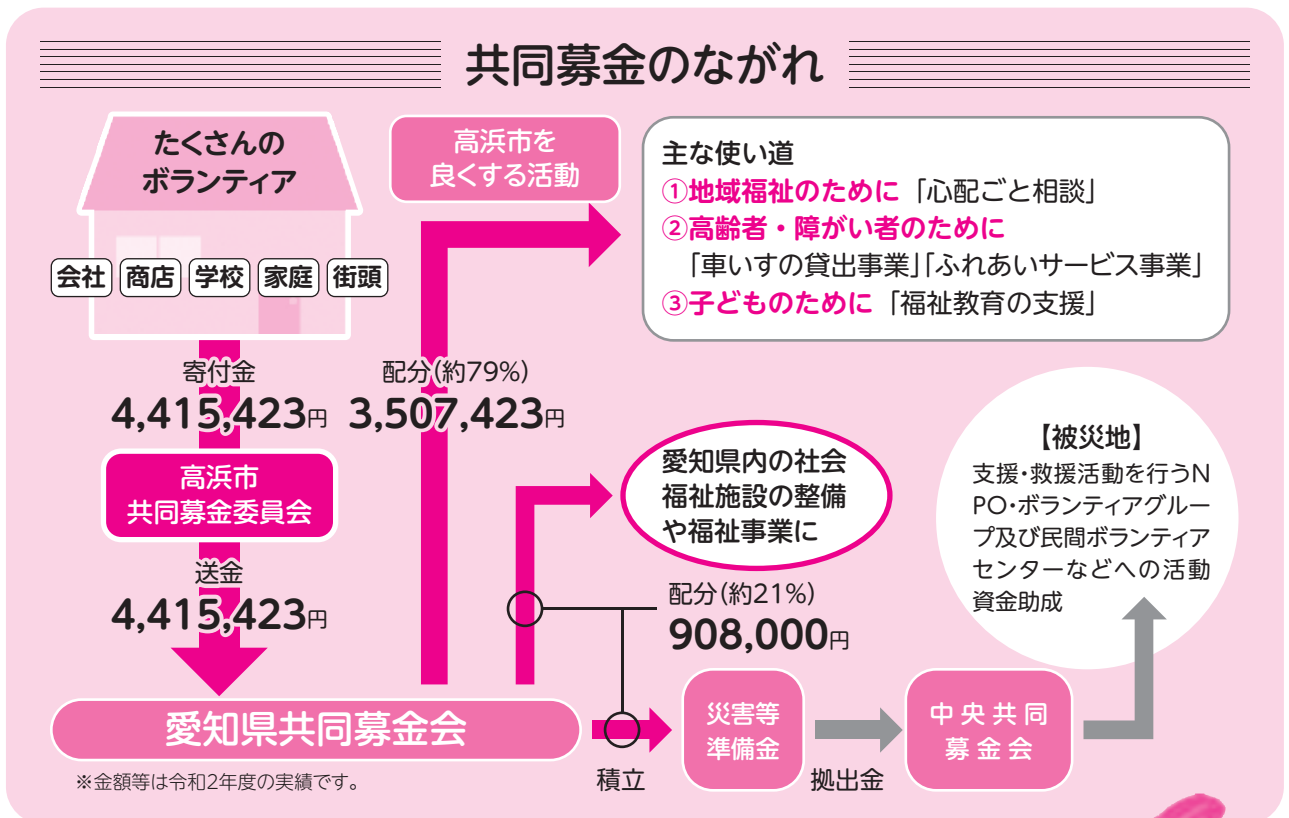


今年も10月1日より、共同募金運動が始まります。

「共同募金」は、協力していただいた皆さまが暮らしている地域で活用される募金であり、地域に暮らす誰もがいつまでも安心して暮らせるように、「ふくし」のまちづくりに役立てられています。皆さまのご協力を、宜しくお願い申し上げます。

【期 間】10月1日(金)～12月31日(金)

令和3年度目標額 4,422,000円



インターネットからも募金できます。
右下のQRコードからご協力をお願いします。



中央共同募金会のウェブサイト「はねっと」ではインターネットで募金することができます。
ご協力を宜しくお願い致します。

※ 共同募金の一部は「ふくし」の発行にも用いられています。



QRコード



共同募金の使い道

「ふくし」のまちづくりに役立てられています！！

皆さまからご協力していただいた募金は、「じぶんの町を良くするしくみ」
として、令和3年度は以下の事業に活用する予定です。

車いす貸出事業

病気やケガ等で車いすが
必要になった方に、日常生活
や通院、外出などに役立て
ていただくため、無料で車
いすの貸出を行っています。
(※ご予約は不要です。)



車いす専用車両「ころん号」貸出事業

車いすを利用している方の
外出支援を目的に、車いす
のまま乗車できる車両の貸
出を行っています。旅行、
通院、買物等の外出の際に
ご利用いただけます。
(※ご予約が必要です。)



ふれあいサービス事業

サービスを利用する人も提
供する人も同じ住民同士で
す。制度に捉われず、介護・
家事・子育てなど、地域で
の当たり前暮らしを支え
る地域福祉活動です。
(※会員登録が必要です。)



移送サービスの様子

心配ごと相談

弁護士による30分の無料法律相談を
行っています。原則、毎月第1・第3木
曜日に開催されております。
(※ご予約が必要です。)



ふれあいサービスの活動、心配ごと相談の開催は、新型コロナウイルスの感染
状況により中止となる場合があります。

おもちゃライブラリー

子どもの心豊かな成長を目的と
したおもちゃの貸出をみどり学
園で行っています。おもちゃ遊
びを通じて自主性や創造性を高
め、子ども同士や親子のふれあ
いの場を提供しています。



生活困窮世帯への学習支援事業に対する支援

学習支援事業の中で、子どもたちの食事作
りをして下さるボランティアさんへ支援を
行っています。



福祉教育の支援

市内小中学生、高校生に対して、
手話・点字・車いすなどの体験や
障がいのある方との出会いの機
会を通して、「共に生きる力」
を育む活動に取り組んでいます。福祉実践教室の様子



令和2年度実績額

種別	募金額 (円)
戸別募金	3,286,921
法人募金	599,500
学校募金	111,117
職域募金	149,646
イベント募金	17,301
赤い羽根協力店	84,082
街頭募金	40,613
その他	126,243
計	4,415,423

協力法人 (募金額5,000円以上の法人) ご協力、誠にありがとうございました。

(株)愛知、愛知県衣浦港トラック事業協同組合、愛知県陶器瓦工業組合、あいち中央農業協同組合吉浜支店、伊藤鉄工(株)、
(株)岩月商店、(株)岩福セラミックス、(株)H.M.E、エヌティーエンジニアリング(株)、エヌティー精密(株)、エヌティーツール
(株)、エヌティーテクノ(株)、(有)加藤生花装具店、(株)神清、クロダイト工業(株)、(株)堺屋、三州野安(株)、(株)松鶴園、(宗)常照
院、新東(株)、(株)スギヤスエンタープライズ、スミヤ精機(株)、創嘉瓦工業(株)、大昇運輸(株)、高浜工業(株)、高浜電工(株)、ダ
ブルイー(株)、都築建設工業(株)、(株)ティ・エス・シー、(株)デリカシステム、(株)デンソープレステック、(株)豊田自動織機、
トヨタ車体精工(株)、日本ペイント・オートモーティブコーティングス(株)、(有)野々山工業所、(株)八大不動産、水野運送(株)、
宮脇グレイズ工業(株)、(株)吉浜人形 (50音順、敬称略)



福祉実践教室

を行っています



高浜市では、毎年、地域の皆様にご協力いただいた赤い羽根共同募金を活用し、市内の小学校・高校の福祉協力校全6校で、福祉実践教室を実施しています。

福祉実践教室では、ふくしとは何か? 「点字」「手話」「車いす体験」「高齢者疑似体験」「障害者スポーツ」などを通して、様々な障がいや高齢者について学びます。

児童・生徒が、地域で暮らしている障がい者や高齢者等との交流を通して、地域の福祉課題や生活課題に気づき、日常的な実践活動へと広げていくことで、「豊かな人間性」や「共に生きる力」を育むことを目的としています。つまり、ともに暮らしていく中での助け合いという“思いやり”を育みます。

●高浜市立高取小学校

6月25日(金)・28日(月)高取小学校3年生が、聴覚障がいへの理解を深める学習を行いました。

新型コロナウイルスの感染対策の為、クラス単位での実施となりましたが、どの生徒もみんな真剣に話を聞いていました。聴覚障がいについて実際の生活はどのような様子なのか、どんなことに困るのか、生活しやすくするためにはどのような工夫がされているのかなど、講師の榭原さんや竹村さんにわかりやすく教えて頂きました。

実際に手話も学び、挨拶や自己紹介などに挑戦しました。授業後には、さっそく学んだ手話を活かして講師の方にお礼を伝えている子もいました。



コミュニケーション方法には手話以外にも、空書や口話・指文字などがあることを教わりました。



「ヘルプマークについて知っていますか？」
たくさん子どもたちから手が挙がりました。

●愛知県立高浜高校

6月17日（木）高浜高校普通科1年生を対象に、福祉実践教室を実施しました。今年度は新型コロナウイルスの感染対策の為、体験学習ではなく講話が中心の授業となりました。

身体障がい・視覚障がい・聴覚障がい・認知症について、当事者や保健師より、基礎知識やコミュニケーションについて、災害時に気にかけて欲しいことなどをお話していただきました。

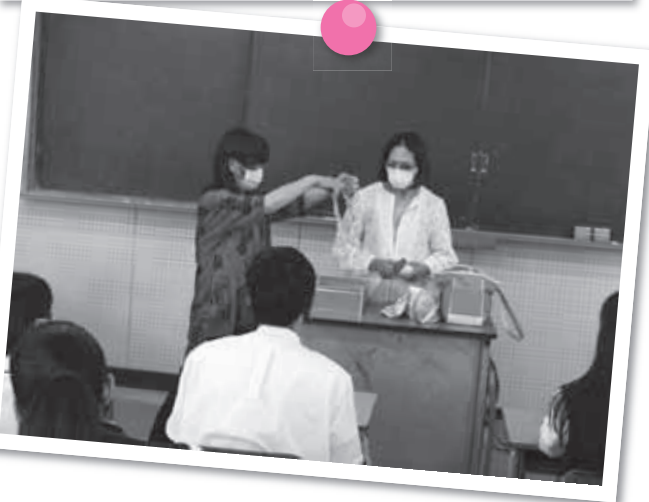


(上)ボッチャがどのような競技なのか、写真を用いてルール説明を受けました。

(右)ボッチャはジャックボールにより多くのチームボールを近づけた方が勝ち！これがなかなか思い通りにはいかず、難しいのです。



(左)視覚障がいをお持ちの藤浦さんより、普段の生活の様子について色々とお話をいただきました。皆さんの持っているイメージと、実際の生活では異なることもあることを学びました。



(右)リングの皮むき実演を通して、目が見えない方も訓練をしたり、慣れたりすることによって、できることが増えることを知っていただきました。

その他、各学校にて随時福祉実践教室に取り組んでいます。

地域の支え合い事業

ふれあいサービス

〈有償ボランティアを募集しています!〉

ふれあいサービスとは、高浜市内に在住の市民の方で、日常生活を営むのに支障があり「困っているから助けて欲しい」方と「できる事を時間のある時に協力しても良い」という方を、社会福祉協議会が繋ぐサービスです。

それぞれ利用会員・協力会員として登録していただき、公的なサービスでは手の届かない介護や子育て、家事の支援サービスを協力会員（有償ボランティア）で提供する会員制の住民互助サービスです。お互いが高浜市民、助けたり助けられたりしながら、みなさんが地域で安心して生活できるよう、お手伝いをしています。

◎ こんな活動をしています ◎

家事 …… 買い物、掃除、食事作りなど



年を取ると低くかがむ姿勢も辛いもの。床掃除やお風呂掃除は手伝ってくれと有難い。

食品や日用品など、「車も無いし、頼れる家族も近くにいないから、足腰が弱ってからはなかなか欲しい物を買に行けな…」等の困っている方の代わりに買い物に行きます。



家事支援の食事作りで、協力会員と利用会員が一緒に作ったおかず。

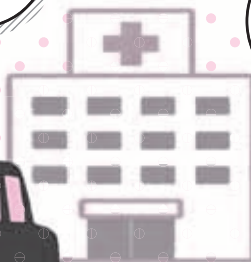


介護 …… 移動の介助、通院の付き添いなど

買い物や病院に行きたいけど、1人でタクシーに乗っていくのは不安。一緒に荷物を持ってくれたり、タクシーの乗降や段差を見守ってくれたりすると安心できるわ。



車いす利用者の移送サービスで付き添いをしてくれる人が必要、病院内で一緒に説明を聞いてくれたり、車いすを押してくれる人がいて欲しいなどの通院時のサポートをします。



子育て …… 子育て支援、登校・園の送迎補助など



洗い物や掃除や家事をしている間、ちょっと子どもの相手をしてくれる人がいるといいな。



子どもが元気いっばいだから、1人で送迎するのは不安。通学に慣れるまで一緒に行ってくれる人がいれば助かる！



障がい者自立支援

…… 外出支援など

一人でも出かけられるけれど、付き添ってくれたら安心



移送

…… 車いす・寝たきりの方の外出支援

車いすやストレッチャーで生活をしているけれど、家族の車にはそのまま乗れない方、外出支援のできる家族が身近にいない方など、通院や買い物等の外出をサポートします。
※付き添い者必須
※発着のどちらかが高浜市内の場合に限る
※対象：車いす・ストレッチャー使用者



この事業の趣旨に賛同して下さる方からの、会費によるご支援を頂く賛助会員も募集しています。

ふれあいサービスでは現在、こうした活動に協力をしてくださる「協力会員」を募集しています。特別な資格や専門知識が無くても大丈夫。安心して活動できるよう、社会福祉協議会がサポートをします。「午前中だけ」「空いている日にちと合えば」など、ご自身の都合の良いところに合わせた活動の仕方でもできます。月に1回～の活動でも大丈夫です。ぜひ、皆さんのお力をお貸しください！！

*新型コロナウイルスの感染状況により、活動を縮小・中止する場合があります。



問合せ

高浜市社会福祉協議会 ふれあいサービス (神谷・野田)
高浜市春日町五丁目165番地
0566-52-2002

ボランティアをしてみたい方、お気軽にご連絡ください！

みんなで権利擁護を考えよう!

～高齢者虐待～

高齢者虐待の実態

高齢者虐待の通報件数は年々増加しています。日本は高齢化が進んでおり、高齢者の増加によって家族や介護業界での介護の負担は増え、これによって虐待が生じてしまうことが背景の一つとして考えられます。また、家庭内や施設内は、閉ざされた場所であるため、虐待が起きてもその事実が外部になかなか露見しないということも多いです。

養護者による高齢者虐待の相談・通報件数と虐待判断件数の推移

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
相談・通報件数	34,057件	32,231件	30,040件	27,940件	26,688件
虐待判断件数	16,928件	17,249件	17,078件	16,384件	15,976件

虐待を受けている高齢者の約80%は認知症があるといわれています。他にも厚生労働省が発表するデータでは、以下の特徴が見られます。

令和元年度の虐待判断件数の詳細

- ①虐待を受けた方の年齢… 65～69歳：8.6% 70～79歳：35.3% 80～89歳：43.8%
90歳以上：12.3%
- ②虐待を受けた方の性別… 男性：約25% 女性：約75%
- ③虐待の種別（重複あり） 身体的虐待：67.1% 心理的虐待：39.4% 介護等放棄（ネグレクト）19.6%
経済的虐待：17.2% 性的虐待：0.3%
- ④主な虐待の発生要因…… 虐待者の「性格や人格に基づく言動」：54.2%
（重複あり） 被虐待者の「認知症の症状」：53.4%
虐待者の「介護疲れ・介護ストレス」：48.3%
虐待者の「理解力の不足や低下」：41.6%
- ⑤虐待を受けた方の…… 虐待者のみと同居：50.5% 虐待者及び他家族と同居：35.9%
世帯状況
- ⑥虐待を受けた方との続柄 息子：40.2% 夫：21.3% 娘：17.8%



データから
考えられる
高齢者虐待の
背景

虐待者の内訳は、**息子：40.2%** **夫：21.3%** **娘：17.8%**となっています。男性の割合が高いことも特徴的ですが、被虐待者の家族構成を見ると、虐待者のみと同居の世帯が50.2%、虐待者と他家族と同居35.9%、と、虐待者と被虐待者の2人世帯で虐待が起こりやすく、中でも男性が一人で介護を担っている世帯は虐待が起こりやすい傾向があることがわかります。また、虐待が起こる要因として被虐待者の認知症状だけではなく、虐待者の介護疲れ、ストレス、虐待者の理解力の低下等が挙げられます。そのため虐待者に対してサポートが必要であることが分かります。

虐待の発生を
防ぐには

家族間での介護では、介護をする側にストレスがたまったりすると、つい高齢者を怒鳴ってしまうことも考えられます。一人で悩まずに地域での介護や医療、保健をサポートする地域包括支援センターへ相談してみましょう。

高浜市地域包括支援センター（いきいき広場内） 0566-52-9610
窓口時間：月～土 午前8時30分～午後7時（土曜日は午後5時15分まで）

参考：厚生労働省ホームページ 高齢者虐待防止関連ページ

令和3年度 碧海5市災害 ボランティアコーディネーター 養成講座

今後発生すると言われている南海トラフ巨大地震をはじめ、その他の自然災害への日頃からの備えのひとつとして、被災時の近隣市間での連携が不可欠です。

そこで、碧海5市の社会福祉協議会では、毎年協働で災害ボランティアコーディネーターを育成し、被災時や復興支援時における地域の困りごとに対応できるよう、広域で助け合うこともできる体制をめざしています。令和3年度も碧海5市災害ボランティアコーディネーター養成講座を開催しますので、ぜひご参加ください。なお、今年度は知立市での開催になります。

『災害ボランティアコーディネーター』とは

「災害ボランティアセンター」は、大規模な災害が発生した時、地域の災害ボランティア活動を進めるための拠点として開設されます。そこで、被災者の困りごととボランティアをつなぐ役割として運営のお手伝いをするのが、『災害ボランティアコーディネーター』になります。

日時・会場 2日間コース（2日間の内容全てを受講された方に修了証をお渡しします）

12月11日（土）10:00～16:00 知立市中央公民館 2階 講堂（知立市広見3丁目1）

■公開講演会：地域の助け合いから、防災へつなげよう～自助・共助の視点から～

講師：被災地NGO協働センター 増島 智子 氏

（公開講演会のみ希望される方は、zoom視聴となります。）

■災害ボランティアセンターの設置について

講師：知立市協働推進課

■災害ボランティアセンターの流れについて

講師：碧海5市社会福祉協議会

■各地の災害ボランティアセンターについて

講師：刈谷防災ボランティア 山下 克昭 氏



12月12日（日）10:00～16:00 知立市中央公民館 2階 講堂

■災害ボランティアセンター模擬演習

講師：刈谷防災ボランティア 山下 克昭 氏

■ワークショップ&交流会

対象 碧海5市（碧南・安城・知立・高浜・刈谷市）在住・在学・在勤の方

定員 40名程度

申込期間 11月30日（火）

受講料 無料

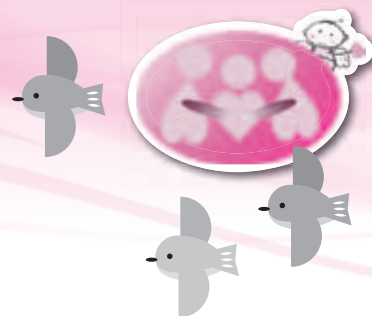
問合せ・申込み

高浜市社会福祉協議会 ボランティアセンター てとてとて

高浜市春日町5-165 高浜市いきいき広場3階

電話0566-52-9882 Fax0566-52-4100 Mail tetotetote@takahama-shakyo.or.jp

新型コロナウイルスの感染状況により、中止となる場合があります。



宅老所昼食づくりボランティア あじさい

コロナ禍でも精力的に活動するグループをご紹介します。

【活動内容】

宅老所こっちゃんでは昼食づくりを行っています。

「あじさい」のみなさんは、昨年9月に設立されたばかりの新しいグループですが、吉浜地区の「サロンぽっぽぽ」で活躍されていたみなさんです。取材日は、「あじさい」のみなさんが得意とするちらし寿司を準備されていました。

暑さも厳しくなったので、食欲増進効果が期待され、さっぱりとしたメニューに決まったようです。野菜炒めも加わって、栄養バランスばっちりですね。

習字、コーラス、大正琴など得意なことがそれぞれ違う、個性あふれるメンバーのみなさんです。気心が知れて、何でも言い合える仲良しな仲間楽しんでつくる料理は、宅老所の利用者さんに好評です。

【活動場所】 宅老所こっちゃん 【活動日】 毎月第2月曜日 10:00～14:00



宅老所こっちゃんでは食事づくりを行っている様子



宅老所は市内で5か所あります。

食事づくりのボランティアにご興味のある方は、ボランティアセンターへお問合せ下さい。

問合せ

高浜市社会福祉協議会 ボランティアセンターてとてとて

電話：0566-52-9882 FAX：0566-52-4100 メール：tetotetote@takahama-shakyo.or.jp

B o c c i a

第7回 たかはま

ボッチャ大会



パラリンピックの正式種目である「ボッチャ」は、障がいのある方、おとしより、子ども、だれもが簡単に楽しめるスポーツです。

高浜市ではボッチャをみんなで楽しみ、幅広い世代が交流できる機会になるよう、大会を開催します。ルールを知らない方でも簡単に覚えられるので大丈夫です。

新型コロナウイルスで、地域のつながりが断ち切られている中、接触が少なく、間隔が取れる「ボッチャ」を通して、つながりの大切さを感じてみませんか。

東京パラリンピックでの日本チームの活躍から大注目のボッチャ。

みなさんお誘い合わせの上、ぜひご参加ください！！

- 日 時**：【予選】 ①11月14日(日) 高浜市立翼小学校 体育館
 ②11月21日(日) 高浜市立南中学校 体育館
 [午前の部] 10:00~12:00
 [午後の部] 13:30~15:30
 【決勝】 11月27日(土) たかぴあ メインアリーナ
 13:30~14:30



参加方法：新型コロナウイルス感染症予防のため、人数の密を避けるため、予選2回・決勝と日時を分けて、実施します。

そのため、申し込みの際に、参加できる予選日をお伝えください。

参加資格：市内在住・在勤・在学の方(チームの半数以上が資格に該当すること)

チーム数：48チーム

※今年度は新型コロナウイルスの感染対策の為、参加チーム数を限定しております。

対戦形式：団体戦(1チーム3名) 予選リーグと決勝トーナメントを行います。

競技規則：基本的に日本ユニバーサルボッチャ連盟競技規則を適用(予定)

表彰：1位から3位までのチームを表彰します。

参加料：無料

その他：参加希望チーム多数の場合は、調整を行う場合があります。

申込方法：申込用紙を記入の上、直接またはFAX、郵送のいずれかでお申込み下さい。

用紙は下記の申込先に取りに来て頂くか、高浜市社会福祉協議会のホームページより印刷して下さい。(http://takahama-shakyo.or.jp/)



◆**受付期間**／令和3年10月15日(火)から令和3年11月8日(月)まで

◆**申込先**／〒444-1334 高浜市春日町五丁目165番地 いきいき広場3階
高浜市社会福祉協議会(担当：神谷・野田)
電話(0566)52-2002 FAX(0566)52-4100



新型コロナ
ウイルスの
感染状況により、
中止となる場合が
あります。

東京2020 パラリンピック聖火リレーで ランナーをつとめた 藤浦和子さんをインタビュー しました。

藤浦さんは、25歳の頃、ベーチェット病という原因不明の疾患で視力を失いました。視覚障がいを持ちながらも、視覚障がい者のための外出サポートを行うガイドヘルプボランティア「シクラメンの会」で活動しています。また、福祉実践教室では、講師をつとめ、ご自身の体験をふまえた講話、点字・ガイドヘルプの指導を行い、視覚障がいへの理解促進に取り組まれています。



聖火リレーで実際に使用したトーチを持つ藤浦さん

★聖火ランナーをつとめた率直な感想を教えてください。

藤浦さん：会場は静岡県ということで家族と一緒に行きました。実際に走った距離は200mで、周囲の声援もあり、あっという間に完走できました。挨拶の時は緊張しましたが、パラリンピックの代表選手を応援したいという気持ちで、楽しくランナーをつとめさせていただきました。

★今までどのようなスポーツに挑戦されてきましたか。

藤浦さん：これまでにスキーや水泳、テニス、陸上など行ってきました。今は砲丸投げの練習をしており、今度県大会に出場予定です。スポーツをすると元気になるし、気持ちも前向きになります。

★地域で幅広い活動をされていますが、活動の原動力は何ですか。

藤浦さん：スポーツ以外でも何でもやりたくなります。目が見えなくなった時は、ショックでこれからどうやって生きていくのか悩んだこともありましたが、怖がらずにやってみないと分からないという気持ちで前向きに挑戦しています。

★高浜市の皆さんにお伝えしたいことはありますか。

藤浦さん：障がいがある方が家に閉じこもるのではなく、社会と接する機会が増えていくと嬉しいです。高浜市の皆さんも駅のホーム等、障がいがある方を見かけたら是非声をかけていただきたいです。

善意をありがとうございました

永柳和枝、日本スポーツウエルネス吹矢協会 高浜大鷲支部 支部長 伊豆隆文、マリオン高浜店
(50音順、敬称略)

広報紙「ふくし」
は財源の一部に赤
い羽根共同募金配
分金を受けて発行
しています。

編 集
発 行

社会福祉法人 **高浜市社会福祉協議会**

〒444-1334 愛知県高浜市春日町五丁目165番地
TEL: 0566-52-2002 FAX: 0566-52-4100
E-mail: info@takahama-shakyo.or.jp

